

令和6年度 和賀東小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～子どもと教師のウェルビーイングを目指して～

和賀東小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現状

[定量的現状]

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」目標達成状況について

「時間外在校等時間が月80時間以上のものを前年度比3割減とする。」

・R4年度2人の5割減:目標1人、実績:R5年度0人

「時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。」

・R4年度:1人、R5年度:0人

[定性的現状]

○ 教職員の意識

・担任兼主任を担当する教職員など、一部職員に業務が集中している。

・週1回のノー残業デーの取組が、一部徹底されていない。

○ 管理職のマネジメント

・安全衛生委員会を定例的に開くことができなかった。

・今までの業務を、ウェルビーイングの視点をもって見直しを図っている。

2 目標・目指す姿

<R6年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」に掲げるR6年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する先生方の月1回以上の年次取得を目指します。

<目指す姿>

・教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

・教職員が、授業改善を進め、授業準備や教材研究を深める時間を確保できている。

・子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。

・教職員一人一人がワークライフバランス(仕事と家庭生活の調和)の実践を意識し、教育活動に取り組んでいる。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・対話を大切にし、チーム学校で教育活動を推進します。
- ・管理職が、教職員の健康について配慮できるように、日頃からのコミュニケーションを大切にします。
- ・管理職が、長時間勤務者の要因を分析し、改善に向けた対応について検討し実践します。
- ・管理職が、計画的な年次取得や長期休業の年次取得を促し、仕事と休みのメリハリを設けます。
- ・週1回ノー残業デーを個々につくるよう声がけします。

○ 学校における業務改善の推進

- ・学校行事や通常の教育活動の目的と手段の見直し、真に改善すべき業務内容に取り組めます。
- ・管理職が、一部教職員への業務の偏りが出ない、分掌内での仕事分散とチームでの共助を促します。
- ・職員の意識改革を目的に、月に1回安全衛生委員会を開催するとともに、学期に1回は全職員で働き方について情報共有します。
- ・会議については、資料の事前配付と検討事項の明確化により合理化を図ります。
- ・重複している業務を連動させ時間短縮を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・地域学校協働活動とコミュニティースクールの一体的取組として、学校・家庭・地域の連携協働による業務改善を進めます。
- ・PTA活動について、学校及び教職員が担う業務の明確化、適正化や適正な役割分担を進めるよう連携、協議をしていきます。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう周知徹底をします。

令和6年4月5日 和賀東小学校長 菊池ゆかり

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R4~6年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

- 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の者をゼロにする。
- | | | | |
|----------------|----|----|------|
| ・令和4年度実績(6月調査) | 7人 | 割合 | 1.2% |
| ・令和5年度実績(6月調査) | 9人 | 割合 | 1.6% |

- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者を段階的に縮減し、令和6年度末までにゼロにする。
- | | | | |
|----------------|-----|----|------|
| ・令和4年度実績(6月調査) | 38人 | 割合 | 6.7% |
| ・令和5年度実績(6月調査) | 34人 | 割合 | 6.2% |